

長期ビジョン推進事業

区分	拡充	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	未来創造部	課名	未来戦略課	課長名	田中 秀和
事業主体	県				事務区分 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務			事業区分 <input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業開始年度 R1 年度 経過年数 6 年	事業終了 予定年度 (見直し年度) R11 年度	R11 年度
事業実施方法	直営、委託										
補助率	—										
福井県長期ビジョンにおける位置付け	分野 [5 ともに進める(総合力)] 政策 [17 「チームふくい」の行政運営]					関連する県の計画等		[]			
[解決すべき問題・課題] 長期ビジョンが目指す将来像の実現に向け、県民への長期ビジョンの周知および県民アクションの喚起						[問題・課題を表す客観的データ] 長期ビジョンの認知割合 (R4年度) 33.7% 長期ビジョンの内容まで知っている割合は微増傾向だが、全体として認知割合は伸びていないため、引き続き周知が必要					
[事業目的] 令和2年7月に策定した福井県長期ビジョンが目指す将来像を県民が共有し、「チームふくい」で実現するため、県民に広く長期ビジョンを周知するとともに、ビジョン実現に向けた県民活動を促進する。また、長期ビジョン実行プランおよび第2期ふくい創生・人口減少対策戦略の進捗管理、効果検証を行い、次期計画への改訂を行う。											
[事業内容] ○長期ビジョン推進会議の開催 ○県民との意見交換会の開催 ○県民アンケートによる県民意識調査の実施 ○長期ビジョン現場deトーク・ワークショップ等の開催 ○チャレンジ政策提案に関する必要経費への支援											
[受益者] 県民						[想定される受益者数] 75万人					
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)				
市町との連携状況	ビジョン策定に当たり、県内すべての市町で市町別意見交換会を開催 (R1. 8~9月)					他県の状況					

長期ビジョン推進事業

区分	拡充	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	未来創造部	課名	未来戦略課	課長名	田中 秀和	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R1 年度 経過年数 6 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R11 年度
事業実施方法	直営、委託											
補助率	-											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	10,314				10,314							
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	令和6年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移		7,468	4,096	3,528	3,075	10,314	<ul style="list-style-type: none"> ・実行プラン等改訂に向けた会議開催経費の増額 ・県民との意見交換会の実施 					
2月現計予算額の推移		7,468	4,096	3,528	3,075							
決算額の推移		6,608	3,381	2,805								
前年度までの主な増減理由		R3：ビジョン策定による印刷経費等の減額 R4：セミナー開催経費、ビジョン増刷経費の減額 R5：ワークショップ開催経費等の減額										
[成果指標等の推移]												
区 分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	ワークショップ等の参加者数 (目標)	(2,500)	(3,000)	(3,000)	(3,000)	(3,000)	(3,000)	(3,000)	現場deトークやFUKUI未来トークなどの参加者数			
	実績	2,761	3,151	3,110	3,185							
活動指標	ワークショップ等の開催 (目標)	(25)	(30)	(30)	(30)	(30)	(30)	(30)	現場deトークやFUKUI未来トークなどの開催数			
	実績	28	34	30	23							
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和6年度の変更点				事業評価				
・新型コロナの影響により、対面形式でのワークショップ等の開催が困難な時期もあったが、ワークショップ等の参加者数は目標の3,000人を超えることができた。				・引き続き、様々な方法で県民との長期ビジョンの共有を図るとともに、実行プラン等の改訂に向けて対面やアンケートによる県民の意見聴取を強化する。				■ 拡充	□ 縮減	□ 終期の見直し	見直し額	
								□ 継続	□ 休止	□ 完了		
								□ 整理統合	□ 廃止	□ その他		

SDGs推進事業

区分	拡充	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	未来創造部	課名	未来戦略課	課長名	田中 秀和	
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	R2 年度 経過年数 5 年	事業終了 予定年度 (見直し年度)	R8 年度
事業実施方法	直営、委託											
補助率	—											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [5 ともに進める(総合力) 政策 [17 「チームふくい」の行政運営]]				関連する県の計画等	[]						
[解決すべき問題・課題]						[問題・課題を表す客観的データ]						
<ul style="list-style-type: none"> ・SDGsパートナーの拡大 ・パートナー同士の連携・協働の促進 						<ul style="list-style-type: none"> ・「ふくいSDGsパートナー」登録数：923機関（R5.3月末現在） 						
[事業目的]												
県民が主役となり、持続可能で多様性のある社会を実現するため、SDGsの理念を県民に普及するとともに、その達成に向けた行動を促進する。												
[事業内容]												
<p>(1) SDGsの普及啓発</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ふくいSDGsパートナー」登録制度の運営 ・「ふくいSDGs月間（ジュナナ・チャレンジ）」の実施 ・フォーラムの開催 ・パートナーの活動PR資料の作成・公開 <p>(2) 地域課題解決に向けたパートナーの連携・協働の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ふくい未来人材育成プロジェクト」の実施 ・パートナー活動応援金の交付 ・「SDGsコーディネーター」の設置によるパートナーの連携促進 ・ふるさと納税を活用したSDGs推進事業の発信 												
[受益者] 県民						[想定される受益者数] 75万人						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況						他県の状況						

SDGs推進事業

区分	拡充	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	未来創造部	課名	未来戦略課	課長名	田中 秀和	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R2 年度 経過年数 5 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R8 年度
事業実施方法	直営、委託											
補助率	-											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	25,788	2,424		(寄) 5,340	18,024	デジタル田園都市国家構想交付金(地方創生推進タイプ) 寄附金(ふるさと納税) 特別交付税措置(地域おこし協力隊)						
〔予算額の推移等〕 (単位：千円)												
区 分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	令和6年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移		1,058	4,462	5,979	16,315	25,788	<ul style="list-style-type: none"> ・「SDGsコーディネーター」の委託について、契約期間が1年間になること増額 ・ふるさと納税を活用したSDGs推進事業の追加による増額 ・「ふくい未来人材育成プロジェクト」の終了による減額 					
2月現計予算額の推移		1,058	2,231	5,479	13,515							
決算額の推移		917	2,223	4,890								
前年度までの 主な増減理由		R3：公式ロゴ愛称募集経費、パートナーへの応援金の増額 R4：未来人材育成プロジェクト経費の増額 R5：「SDGsコーディネーター」設置に関する事業の追加による増額										
〔成果指標等の推移〕												
区 分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	SDGsパートナーシップ会議(目標) 参加企業・団体数	(150)	(300)	(850)	(1,000)	(1,200)	(850)	(1,200)	民間のSDGs達成に向けた行動を促進するため、会議に参加する企業・団体数の拡大を図る。(「ふくいSDGsパートナー」登録数の累計)			
	実績	310	617	923	1,090							
活動指標	県・民間団体の活動内容の(目標) 広報	(1)	(10)	(10)	(10)	(100)	(100)	(100)	SDGsに関する県およびパートナー登録企業・団体の取組の認知度を高める。(県または県とマスコミの連携により、パートナーの取組みを番組等で紹介した回数)			
	実績	2	72	104	137							
〔事業の評価〕												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価					実績を踏まえた令和6年度の変更点			事業評価				
成果指標および活動指標ともに目標を達成 ・「福井県SDGsパートナーシップ会議」を創設しに参画する企業・団体等を「ふくいSDGsパートナー」として募集・登録(登録数：1,090機関(R6.2月末現在)) ・9~10月 パートナー同士の交流を深める「ふくいSDGsワクワクWorkshop」を開催(参加者：62名)					・ふるさと納税を活用したSDGs推進事業の全国への発信を新たに実施し、当活動への賛同を広げる			■ 拡充	□ 縮減	□ 終期の見直し	見直し額	
								□ 継続	□ 休止	□ 完了		
								□ 整理統合	□ 廃止	□ その他		

ふくい政策デザイン推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	未来創造部	課名	未来戦略課		課長名	田中 秀和
事業主体	県				事務区分 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務		事業区分 <input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他		事業開始年度 R2 年度 経過年数 5 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R8 年度	
事業実施方法	直営											
補助率	—											
福井県長期ビジョンにおける位置付け	分野 [5 ともに進める (総合力)]		政策 [17 「チームふくい」の行政運営]		関連する県の計画等	[]						
[解決すべき問題・課題] 経済のグローバル化やAI・IoTなどの技術革新、ニューノーマル・LGBTなどの多様な価値観の進展など、行政を取り巻く環境が目まぐるしく変化する中、従来のアプローチのみによる政策立案には限界があり、デザイン思考の導入など新たな手法が求められている。						[問題・課題を表す客観的データ]						
[事業目的] 長期ビジョンに掲げる「デザインの力を活かし政策の質を向上させる」考え方に、人の意思決定の癖を用いて望ましい行動を促す「ナッジ理論（行動経済学）」を組み合わせ、利用者目線で解決の道筋を描くことで政策の質を高める。												
[事業内容] (1) 政策デザインの推進 ・ 県内デザイナーとともに真の課題や解決すべきことは何かを顕在化させる現場リサーチやワークショップを実施 ・ 県政の重要課題について、県内デザイナー等と意見交換するミーティングを開催 ・ 政策デザインの推進における総合的なディレクションやアドバイス業務を担うアドバイザーを配置 ・ 本県独自の政策立案手法や事業効果の全国発信、社会的な課題解決のデザインを実践しているクリエイター等の講演会の開催 ・ 政策デザインに関する職員同士の勉強会や研修の実施 (2) 政策ナッジの推進 ・ ナッジの考え方や発想を活用したアイデアを得る相談会の実施 ・ 具体的テーマを題材にした実践型職員研修の実施 ・ ナッジ理論を政策づくりに取り入れる有用性を発信・普及するセミナーの開催												
[受益者] 県民						[想定される受益者数] 75万人						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況						他県の状況	【参考】 ・ 佐賀県（さがデザイン） 外部のデザイナーやクリエイター、コンサルタント等とのネットワークを構築し、事業・施策の相談窓口として福祉、教育、産業などあらゆる部局にわたるプロジェクトにデザインの視点を導入					

ふくい政策デザイン推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	未来創造部	課名	未来戦略課	課長名	田中 秀和		
事業主体		県			事務 区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務		事業区分 <input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他		事業 開始 年度	R2 年度 経過年数 5 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R8 年度
事業実施方法		直営											
補助率		—											
区分	事業費		国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等					
予算額	2,325					2,325							
[予算額の推移等] (単位：千円)													
区 分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	令和6年度予算額の増減理由						
当初予算額の推移		5,529	2,554	4,225	2,523	2,325	・政策ナッジに関する経費を減額						
2月現計予算額の推移		4,745	2,554	3,250	2,028								
決算額の推移		3,920	2,257	2,770									
前年度までの 主な増減理由		R3：職員研修を減額 R4：政策ナッジに関する経費を増額、政策デザインミーティング経費を減額											
[成果指標等の推移]													
区 分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠				
成果指標	「政策デザイン」相談を経た事業のブラッシュアップ件数 (目標)	(10)	(10)	(10)	(10)	(10)	(10)	(10)	相談件数のうち約1/3程度について、仕様設定の段階から事業をブラッシュアップして執行				
	実績	11	10	10	10								
活動指標	「政策デザイン」相談件数 (目標)	(30)	(30)	(30)	(30)	(30)	(30)	(30)	県民参加型の政策で、これまでとは異なる発想や新たなアイデアを必要とする事業を各部局3件程度				
	実績	31	26	30	31								
[事業の評価]													
前年度の実績・成果指標等の定量的評価					実績を踏まえた令和6年度の変更点			事業評価					
成果指標および活動指標ともに目標を達成 ・政策デザインワークショップを31回開催し、ふくいポークのロゴマークやコピーなど、10事業についてブラッシュアップした。 ・政策デザインの活用について庁内での浸透が図られてきている。一方で、政策デザインの仕組みやナッジ理論の活用になじむ県政課題の発掘が課題となっている。					・ナッジの相談実績を踏まえ、経費を見直し			<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額		
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	198		
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他			

政策立案のためのデータ分析・調査研究事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	未来創造部	課名	未来戦略課	課長名	田中 秀和
事業主体	県				事務区分 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務			事業区分 <input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業開始年度 R6 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度) R8 年度	
事業実施方法	直営、委託										
補助率	—										
福井県長期ビジョンにおける位置付け	分野 [5 ともに進める(総合力)] 政策 [17 「チームふくい」の行政運営]				関連する県の計画等	[福井県長期ビジョン、ふくい創生・人口減少対策戦略]					
[解決すべき問題・課題] ・東京一極集中や婚姻数・出生数の減少、新型コロナ禍を経た新たなライフスタイルへの対応などの地方創生・人口減少対策 ・県民の幸福実感、ウェルビーイング向上						[問題・課題を表す客観的データ] 出生率：H26：1.55 ⇒ H30：1.67 ⇒ R1：1.56 ⇒ R2：1.61 ⇒ R3：1.57 ⇒ R4：1.50 社会減：H26：▲2,246人 ⇒ H30：▲2,159人 ⇒ R1：▲2,832人 ⇒ R2：▲2,308人 ⇒ R3：▲2,096人 ⇒ R4：▲2,531人					
[事業目的] データ分析スキルをもつ外部人材やデータ分析、地域活性化等を学ぶ大学生を活用し、福井県をフィールドとした人口減少の実態などの調査分析およびデータに基づく効果的な対策の提案を受けることにより、EBPMの手法に基づく新たな政策を立案・実行する。											
[事業内容] (1) 人口減少対策に関する本県特有の要因や構造的課題の調査分析、分析データや国内外の事例を踏まえ、解決策等の提案 (2) 幸せ実感・ウェルビーイング向上のための調査分析、政策推進モデルの構築に向けた共同研究の実施											
[受益者] 県民						[想定される受益者数] 75万人					
前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 人口減少対策データ分析・調査事業 (実績) ○横浜市立大学 (R2～R5年度) 自然減・社会減に関するデータ分析の結果を踏まえ、自然減、社会減対策に関する政策提言を実施 ○福井県立大学 (R2年度) 社会減に関するデータ分析・アンケート調査を実施し、政策提言を実施					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)				
市町との連携状況						他県の状況					

政策立案のためのデータ分析・調査研究事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	未来創造部	課名	未来戦略課	課長名	田中 秀和			
事業主体	県				事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務		事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他		事業開始年度	R6 年度	事業終了予定年度 (見直し年度)	R8 年度
事業実施方法	直営、委託					R6 年度	経過年数		1 年					
補助率	-					1 年								
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等								
予算額	4,500				4,500									
[予算額の推移等]												(単位：千円)		
区分	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	令和6年度予算額の増減理由								
当初予算額の推移					4,500									
2月現計予算額の推移														
決算額の推移														
前年度までの主な増減理由														
[成果指標等の推移]														
区分	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠						
成果指標	政策提案件数 (目標) 実績				(4)	(4)	(4)	年1件×4団体を想定						
活動指標	大学などと連携した調査分析等の件数 (目標) 実績				(4)	(4)	(4)	年1件×4団体を想定						
[事業の評価]														
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和6年度の変更点				事業評価						
-				-				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額			
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了				
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他				

人口減少対策データ分析・調査事業

区分	終了	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	未来創造部	課名	未来戦略課	課長名	田中 秀和	
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	R2 年度 経過年数 4 年	事業終了 予定年度 (見直し年度)	R5 年度
事業実施方法	委託											
補助率	—											
福井県長期ビジョンにおける位置付け	分野 [5 ともに進める(総合力)] 政策 [17 「チームふくい」の行政運営]					関連する県の計画等		[]				
[解決すべき問題・課題] ・首都圏や関西圏への人口流出により本県の社会減の数は近年悪化の傾向 ・本県の状況は全国と異なる動きにあり、有効な対策を実施するためにはデータサイエンスに関するスキルを持つ人材による調査分析が有効						[問題・課題を表す客観的データ] <社会減> H26 : ▲2,246人 ⇒ H30 : ▲2,159人 ⇒ R1 : ▲2,832人 ⇒ R2 : ▲2,308人 ⇒ R3 : ▲2,096人						
[事業目的] 人口データ分析のスキルをもつ専門家による人口減少の実態等の調査分析を実施し対策に活用する。												
[事業内容] (1) 人口減に関する本県特有の要因や構造的課題を調査分析 (2) 分析データや国内外の事例を踏まえ、解決策を提案												
[受益者] 県民						[想定される受益者数] 75万人						
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	■ 無 □ 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況						他県の状況						

人口減少対策データ分析・調査事業

区分	終了	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	未来創造部	課名	未来戦略課	課長名	田中 秀和	
事業主体	県				事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業開始年度	R2 年度	事業終了予定年度 (見直し年度)	R5 年度
事業実施方法	委託			経過年数					4 年			
補助率	—											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額												
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	令和6年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移		4,815	2,200	2,200	2,200	-						
2月現計予算額の推移		4,815	2,200	2,200	2,200	-						
決算額の推移		4,425	2,200	2,200		-						
前年度までの主な増減理由		R3：委託件数見直しに伴う減額（2件→1件）、委託先選定にかかる経費を減額										
[成果指標等の推移]												
区 分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	政策提案	(2)	(1)	(1)	(1)			(1)	年1回			
		実績 2	1	1	1			1				
活動指標	大学などと連携した調査分析等の件数	(2)	(1)	(1)	(1)			(1)	年1回			
		実績 2	1	1	1			1				
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和6年度の変更点				事業評価				
○横浜市立大学と連携した調査分析を行い、成果・活動指標の目標を達成 ・県内企業、労働者にアンケート調査を実施し、結果を分析 ・「裁量労働制等のフレキシブルな勤務制度導入や県の子育て支援制度の活用はワークエンゲージメントや生産性にプラスの関連が見られたため、まずは15%の企業での導入・活用を目指すべき」という政策提案を得た				・令和2～5年度に横浜市立大学が実施した人口減少対策データ分析・調査事業の知見を踏まえ、異なる視点での人口減少対策等の分析を新たに行うため、本事業は完了とする。				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input checked="" type="checkbox"/> 完了	2,200	
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

政策企画調整費

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	未来創造部	課名	未来戦略課	課長名	田中 秀和	
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	R1 年度 経過年数 6 年	事業終了 予定年度 (見直し年度)	R6 年度
事業実施方法	直営											
補助率	—											
福井県長期ビジョンにおける位置付け	分野 [5 ともに進める(総合力)] 政策 [17 「チームふくい」の行政運営]				関連する県の計画等	[]						
[解決すべき問題・課題]						[問題・課題を表す客観的データ]						
県政の課題への対応や新たな政策立案を迅速に実施していく必要がある						—						
[事業目的]												
新たな情報収集と政策づくりの仕組みの構築や政策参事会などでの部局横断的な検討の推進等により、政策課題の解決や全国のモデルとなる先進施策を立案する。												
[事業内容]												
<p>(1) 政策企画コーディネーターの活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ビジネスや地域づくり、最新技術等の分野の最前線で活躍する人材を委嘱し、適時の情報提供と企業等とのマッチング、調査依頼への対応などを実現する 新たな情報収集と政策づくりの仕組みを構築 <p>(2) 政策会議</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各分野における県内外の有識者・第一人者をリストアップし、知事・部局長等が機動的に意見交換。提言を踏まえて新施策・事業を立案・実行 <p>(3) 政策参事会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・部局横断型の政策参事会により、新施策・事業を立案・実行 												
[受益者] 県民						[想定される受益者数] 75万人						
前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 政策推進マネジメントシステム強化事業 (実績) 政策アドバイザーなど有識者との意見交換や部局横断の政策参事会における政策検討により、新政策の立案・事業化を推進					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況						他県の状況						

政策企画調整費

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	未来創造部	課名	未来戦略課	課長名	田中 秀和							
事業主体		県				事務 区分	■ 自治事務		事業 区分	■ 実行予算		事業 開始 年度	R1 年度 経過年数 6 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度			
事業実施方法		直営					□ 法定受託事務			□ 補助金								
補助率		-					□ その他			□ その他								
区分	事業費		国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等										
予算額	6,000					6,000												
[予算額の推移等]												(単位：千円)						
区 分			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	令和6年度予算額の増減理由										
当初予算額の推移			1,960	6,000	6,000	6,000	6,000											
2月現計予算額の推移			1,960	6,000	5,023	4,332												
決算額の推移			1,367	4,793	4,584													
前年度までの 主な増減理由		R2：執行実績による減額 R3：政策企画コーディネーター経費の増額																
[成果指標等の推移]																		
区 分			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠								
成果指標	(目標) 実績									課題に対応するための意見交換等を実施する事業であり、目標の設定にそぐわない。関係部局と連携し、政策課題を解決する施策立案に努める。								
活動指標	(目標) 実績																	
[事業の評価]																		
前年度の実績・成果指標等の定量的評価					実績を踏まえた令和6年度の変更点					事業評価								
・政策企画コーディネーターのもつ人脈を活かして製薬会社と保健予防課のタイアップが実現し、不安や心配を抱える難病患者に対するより多くの支援につなげるため、難病患者やその家族が安心して地域で暮らしていけるよう相談・支援を行っている「福井県難病支援センター」のパンフレットを製薬会社の費用負担により、リニューアルした。										□ 拡充	□ 縮減	□ 終期の見直し	見直し額					
															■ 継続	□ 休止	□ 完了	
															□ 整理統合	□ 廃止	□ その他	

先進技術活用による地域開発プロジェクト

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	外	部局名	未来創造部	課名	未来戦略課		課長名	田中 秀和
事業主体	県					事務区分 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	事業区分 <input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業開始年度	R6 年度	事業終了 予定年度 (見直し年度)	R8 年度	田中 秀和
事業実施方法	直営、委託、補助								経過年数			
補助率	1/2								1 年			
福井県長期ビジョンにおける位置付け	分野 [5 ともに進める(総合力)] 政策 [17 「チームふくい」の行政運営]					関連する県の計画等		[]				
[解決すべき問題・課題] 地域課題が年々高度化・複雑化しており、行政内部のリソースのみでは対応困難なため、民間企業との連携強化が必要。						[問題・課題を表す客観的データ]						
[事業目的] 県や市町と相互に連携して地域課題を収集し、民間企業のノウハウを活用して地域課題解決を図り、地域活性化へと繋げる。												
[事業内容] 下記2つのコースを創設し、民間ノウハウを活用した地域課題解決を通じ、地域活性化を図る。 ①課題設定枠・・・県・市町から民間ノウハウを活用して解決したい地域課題を収集し、課題に対して民間企業（県内外）からの提案を募集 ②自由提案枠・・・民間企業から自社の有する技術をもとに、自由な発想で地域課題の解決に向けた提案を募集（テーマは自由）												
[受益者] 県民						[想定される受益者数] 75万人						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)				
市町との連携状況	・民間ノウハウを活用して解決したい地域課題について、各市町の企画部局に対し照会し収集					他県の状況		・愛媛県 トライアングルエヒメ（デジタル実装TYPE+公募型DX） ・広島県 The Meet（広島SAND BOX事業の1つ）				

先進技術活用による地域開発プロジェクト

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	外	部局名	未来創造部	課名	未来戦略課	課長名	田中 秀和						
事業主体		県				事務 区 分	■ 自治事務		事業 区 分	■ 実行予算		事業 開 始 年 度	R6 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R8 年度		
事業実施方法		直営、委託、補助					□ 法定受託事務			■ 補助金						□ その他	
補助率		1/2															
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等											
予算額	32,902				32,902												
[予算額の推移等]												(単位：千円)					
区 分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	令和6年度予算額の増減理由										
当初予算額の推移						32,902											
2月現計予算額の推移																	
決算額の推移																	
前年度までの 主な増減理由																	
[成果指標等の推移]																	
区 分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠								
成果指標	地域課題解決数（実装件数） (目標) 実績					(3)	(3)	(3)	プロジェクト採択件数の半数								
活動指標	プロジェクト採択件数 (目標) 実績					(6)	(6)	(6)	課題設定枠+自由提案枠								
[事業の評価]																	
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和6年度の変更点				事業評価									
-				-				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額						
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了							
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他							

令和6年度全国知事会議福井開催事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	未来創造部	課名	未来戦略課	課長名	田中 秀和								
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務	事業区分	■ 実行予算	事業開始年度	R5 年度	事業終了予定年度 (見直し年度)	R6 年度							
事業実施方法	委託																		
補助率	—																		
福井県長期ビジョンにおける位置付け	分野 [5 ともに進める (総合力)]																		
	政策 [17 「チームふくい」の行政運営]																		
[解決すべき問題・課題]						[問題・課題を表す客観的データ]													
令和6年度全国知事会議の円滑な開催																			
[事業目的]																			
北陸新幹線福井・敦賀開業の年に合わせて都道府県知事などの多くの関係者が参加する「全国知事会議」を福井県で開催し、歓迎行事、開催県PR等を通して、来県者に本県の魅力を発信する。																			
[事業内容]																			
日 程：令和6年7月31日（水）～8月2日（金） 参加人数：会議関係者等 450人程度																			
手配・遂行を担う業者への業務委託																			
<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%; border: none;"> ① 本業務を推進するに当たって必要な運営管理 ③ 宿泊施設の手配等 ⑤ プレイベントの実施 ⑦ 会議運営支援 ⑨ PRブースの設置等による福井県PRの実施 </td> <td style="width: 50%; border: none;"> ② 参加者入力フォームの作成及び運用 ④ 参加者等の送迎手配 ⑥ 意見交換会等の実施 ⑧ 記念撮影（於フェニックスプラザ）の実施 </td> </tr> </table>												① 本業務を推進するに当たって必要な運営管理 ③ 宿泊施設の手配等 ⑤ プレイベントの実施 ⑦ 会議運営支援 ⑨ PRブースの設置等による福井県PRの実施	② 参加者入力フォームの作成及び運用 ④ 参加者等の送迎手配 ⑥ 意見交換会等の実施 ⑧ 記念撮影（於フェニックスプラザ）の実施						
① 本業務を推進するに当たって必要な運営管理 ③ 宿泊施設の手配等 ⑤ プレイベントの実施 ⑦ 会議運営支援 ⑨ PRブースの設置等による福井県PRの実施	② 参加者入力フォームの作成及び運用 ④ 参加者等の送迎手配 ⑥ 意見交換会等の実施 ⑧ 記念撮影（於フェニックスプラザ）の実施																		
[受益者] 会議参加者						[想定される受益者数] 約450人													
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)												
市町との連携状況						他県の状況	直近の開催県 R5年度：山梨県 R4年度：奈良県 R1年度：富山県 ※R2～3年度はWeb開催												

令和6年度全国知事会議福井開催事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	未来創造部	課名	未来戦略課	課長名	田中 秀和		
事業主体	県				事務 区 分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区 分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R5 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度	
事業実施方法	委託												
補助率	—												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等							
予算額	17,000				17,000								
[予算額の推移等] (単位：千円)													
区 分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	令和6年度予算額の増減理由						
当初予算額の推移						17,000	5年度 債務負担行為						
2月現計予算額の推移													
決算額の推移													
前年度までの 主な増減理由													
[成果指標等の推移]													
区 分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠				
成果指標	(目標) 実績								全国知事会の開催事業であるため、指標の設定は困難				
活動指標	(目標) 実績												
[事業の評価]													
前年度の実績・成果指標等の定量的評価					実績を踏まえた令和6年度の変更点					事業評価			
-					-					<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
										<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	
										<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

ふくいブランド戦略推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	未来創造部	課名	未来戦略課	課長名	田中 秀和		
事業主体	県					事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	R5 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年度)	R11 年度
事業実施方法	直営、委託												
補助率	—												
福井県長期ビジョンにおける位置付け	分野 [5 ともに進める (総合力)] 政策 [17 「チームふくい」の行政運営]					関連する県の計画等		[]					
[解決すべき問題・課題]						[問題・課題を表す客観的データ]							
県のブランド発信に際し、控えめな県民性から福井に対するネガティブな紹介を行うなど、関係人口増加の機会を逸することも少なくない。													
[事業目的]													
幸福度日本一の基盤をもとに、県民、企業・団体、行政等の挑戦を共有することで、ふるさとへの自信と誇りを醸成し、官民あげたブランド展開につなげていく													
[事業内容]													
(1) ふくいブランド確立に向けたリーディングプロジェクトの実施													
(2) ふくいブランド確立部会の開催													
[受益者] 県民						[想定される受益者数] 75万人							
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	■ 無 □ 有 事業名 (役割分担)						
市町との連携状況						他県の状況							

ふくいブランド戦略推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	未来創造部	課名	未来戦略課	課長名	田中 秀和	
事業主体	県				事務 区 分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区 分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R5 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R11 年度
事業実施方法	直営、委託											
補助率	-											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	12,850				12,850							
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	令和6年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移					31,000	12,850	・「ふくい最高！」プロジェクト委託件数に伴う減額					
2月現計予算額の推移					31,000							
決算額の推移												
前年度までの 主な増減理由												
[成果指標等の推移]												
区 分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	「住んでいる地域を県外の方に自信をもっておすすめできる」県民の割合(%) (目標) 実績				(30) 30	(32)	(35)	(40)	県民アンケート「住んでいる地域を県外の方に自信をもっておすすめできる」4点以上の回答割合			
活動指標	民間企業等と連携したプロジェクト件数 (目標) 実績				(4) 4	(2)	(2)	(2)	ブランド戦略に基づき、民間企業や県内外のクリエイターとの連携により企画・実施したプロジェクトの数			
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価					実績を踏まえた令和6年度の変更点			事業評価				
成果指標および活動指標ともに目標を達成 ・県民の地域に対する自信と誇りの醸成に向け、民間企業と連携し、各ターゲット世代に合わせて4つの部門に分けて「ふくい最高！」プロジェクトを実施（SNS部門、若者部門、現役世代部門、シニア部門） ・これにより、県民アンケート「県外客に自信をもったPRができるか」の指標で、目標の30%を達成した。					・「ふくい最高！」プロジェクトで特に効果が見られた若者部門とSNS部門を踏まえながら、リーディングプロジェクトを実施			<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	18,150	
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

幸福実感推進事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	未来創造部	課名	未来戦略課	課長名	田中 秀和
事業主体	県					事務区分 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	事業区分 <input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業開始年度	R6 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R9 年度
事業実施方法	直営、委託								経過年数		
補助率	—								1 年		
福井県長期ビジョンにおける位置付け	分野 [5 ともに進める(総合力)] 政策 [17 「チームふくい」の行政運営]					関連する県の計画等		[]			
[解決すべき問題・課題] 県民一人ひとりの多様な幸せ実感						[問題・課題を表す客観的データ] 幸福実感全体平均 (R5平均) 7.00 ※とても幸せを10点、とても不幸せを0点とする11段階評価 幸福実感が7を下回る属性：20代男性6.10、女性6.91、30代男性6.67、40代男性6.59、女性6.96、50代男性6.83、70代以上男性6.97					
[事業目的] 民間の知見・ノウハウを有する「幸福実感コーディネーター」を設置し、幸福実感ディレクターとともに、「幸せ実感プロジェクト」のさらなる推進と進化を図る。											
[事業内容] (1) 幸せ実感プロジェクトの推進 ・ 県外企業を中心に訪問し、連携を模索 ・ 慶應義塾大学、福井県立大学、福井大学などと連携する県民アンケートの調査・分析に参加。得られたエビデンスから、民間の視点を活かした新しいプロジェクトを企画・実行 (2) 県民自身が幸せを考えるワークショップの開催											
[受益者] 県民						[想定される受益者数] 75万人					
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)				
市町との連携状況						他県の状況					

幸福実感推進事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	未来創造部	課名	未来戦略課	課長名	田中 秀和			
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務		事業 区分	■ 実行予算		事業 開始 年度	R6 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R9 年度
事業実施方法	直営、委託					□ 法定受託事務			□ 補助金					
補助率	-					□ その他								
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等								
予算額	3,892				3,892	特別交付税措置（地域おこし協力隊）								
[予算額の推移等]												(単位：千円)		
区 分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	令和6年度予算額の増減理由							
当初予算額の推移						3,892								
2月現計予算額の推移														
決算額の推移														
前年度までの 主な増減理由														
[成果指標等の推移]														
区 分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠					
成果指標	幸福実感が7を下回る属性（目標） の数 実績					(6)	(5)	(4)	県民アンケートにおける幸福実感のスコアが7（R5平均値）を下回る属性の数を減らすことを目標とする ※属性…性別・年代ごとの14区分					
活動指標	民間企業等と連携した幸せ（目標） 実感プロジェクトの企画 実績					(5)	(8)	(10)	幸福実感コーディネーターが中心となり、民間企業等との連携により企画・実施したプロジェクトの数					
[事業の評価]														
前年度の実績・成果指標等の定量的評価					実績を踏まえた令和6年度の変更点					事業評価				
-					-					<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
										<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了		
										<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

首都圏・関西圏における交流拡大事業

区分	拡充	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	未来創造部	課名	未来戦略課	課長名	田中 秀和
事業主体	県				事務区分 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務			事業区分 <input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業開始年度 R2 年度 経過年数 5 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R7 年度
事業実施方法	直営										
補助率	—										
福井県長期ビジョンにおける位置付け	分野 [3 楽しみを広げる(創造力)] 政策 [11 人が人を呼ぶ、移住・定住新戦略]					関連する県の計画等		[]			
[解決すべき問題・課題] ・北陸新幹線開業効果の最大化・持続化のため、積極的に露出を高め知名度を向上させる必要がある。また、福井県出身の経営者や若者のネットワークを強化し、関係人口の創出が必要。 ・フリーランス向けのUIターンや、IT企業向けのサテライトオフィス誘致を展開したいが、本県とゆかりのない企業等には接点がないため説明の機会を逃している。						[問題・課題を表す客観的データ] ・全国魅力度ランキングで37位(2022年)と下位に位置している。 ・東京における企業訪問件数が、近年コロナ禍により、200件程度(4年度)に落ち込んでいる。					
[事業目的] 福井への企業誘致、観光誘客、UIターンや販路拡大につなげるため、首都圏・関西圏における企業・マスコミ等や県内出身学生とのネットワーク強化を図る。											
[事業内容] (1) コミュニティ型ワークスペースを活用した人的ネットワークの構築 (2) 福井県勤務経験者や福井県出身学生等と協力した福井県の魅力発信 (3) 福井県出身学生の交流会の開催、若者発信活動への支援											
[受益者] 県民						[想定される受益者数] 75万人					
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)				
市町との連携状況	コミュニティ型ワークスペースで開催するサテライトオフィス説明会や販路拡大等の県主催イベントに各市町にも参加を呼びかけ、協働して福井をPRする。					他県の状況	本県以外に茨城県、神奈川県、静岡県、愛知県、兵庫県が入居しているほか、政令市を中心に9市町が入居しており、情報交換等を行っている。				

首都圏・関西圏における交流拡大事業

区分	拡充	経費区分	政策的経費	要求基準	内		部局名	未来創造部	課名	未来戦略課		課長名	田中 秀和
事業主体	県			事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務		事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他		事業開始年度	R2 年度	事業終了予定年度(見直し年度)	R7 年度
事業実施方法	直営							経過年数	5 年				
補助率	-												
区分	事業費		国庫	起債	その他		一般財源		国庫、その他財源の名称等				
予算額	3,161						3,161						
[予算額の推移等]													(単位：千円)
区 分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	令和6年度予算額の増減理由						
当初予算額の推移		4,198	5,801	5,932	3,161	3,161	・東京における拠点変更に伴う使用料の減額 ・若者による本県の魅力発信への支援にかかる経費の増額						
2月現計予算額の推移		2,099	3,702	4,416	3,161								
決算額の推移		1,344	2,993	3,705									
前年度までの主な増減理由		R3：大阪での新規拠点契約に伴い、使用料を増額 R4：拠点契約料の見直しによる減額、オンライン名刺管理システム導入に伴う増額 R5：拠点契約料の見直しによる減額											
[成果指標等の推移]													
区 分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠				
成果指標	企業立地を検討する企業等との個別面会・商談、市町への紹介件数 (目標)	(90)	(90)	(90)	(90)	(90)	(110)	(135)	東京事務所60件、大阪事務所30件(6年度)				
	実績	28	24	55	119								
活動指標	福井県勤務経験者や県出身学生とのネットワーク構築 (目標)	(200)	(200)	(200)	(200)	(200)	(240)	(300)	東京事務所100人、大阪事務所100人(6年度)				
	実績	—	59	125	302								
[事業の評価]													
前年度の実績・成果指標等の定量的評価					実績を踏まえた令和6年度の変更点				事業評価				
成果指標および活動指標ともに目標を達成 ・WeWorkでのイベントに参加し、大手企業やベンチャーIT企業などと交流を行った。またイベントにおいて福井県の情報発信を行うことで、興味をもった企業が福井でのイベントに参加するなど福井県との接点を創出。 ・コロナ禍で減少した若者ネットワークの再構築されつつあり、目標を大幅に超えて達成。					・福井県が運営するコワーキングスペース(connect291)の利用に変更する(東京) ・若者ネットワークのますますの活性化に向け、若者が主体となった交流会の開催や情報発信への支援を行う				<input checked="" type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
									<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了		
									<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

嶺南振興プロジェクト枠予算

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	一部内	部局名	嶺南振興局	課名	若狭企画振興室	課長名	久世 東洋晴	
事業主体	県、市町				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R1 年度 経過年数 6 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R8 年度
事業実施方法	直営、委託、補助											
補助率	1/2											
福井県長期ビジョン における位置付け	分 野	[3 楽しみを広げる(創造力)]				関連する県の計画等		[福井県長期ビジョン、行財政改革アクションプラン、 福井県高速交通開通アクション・プログラム 他]				
[解決すべき問題・課題]						[問題・課題を表す客観的データ]						
北陸新幹線福井・敦賀開業、大阪までの早期全線開業に向け、嶺南振興局が果たす役割がこれまで以上に高まる中、観光や地域振興、交通体制の整備など、嶺南地域の様々な課題への総合的な対応が必要						福井県全体に占める嶺南地域における観光客入込数が少ない。 R 4 観光入込客数(延べ人数) 嶺南地域 7,732千人(27.3%) 福井県全体 28,339千人						
[事業目的]												
北陸新幹線福井・敦賀開業、さらには大阪までの早期全線開業等に向けて、嶺南振興局が独自の予算を持つことにより、観光振興等の地域課題に対し、迅速に対応する。												
[事業内容]												
(1) ハード枠 これまで安全安心を最優先にしてきたため十分な対応ができていなかった観光地周辺の道路補修や景観整備等を嶺南振興局長の権限で執行												
(2) 政策トライアル枠 嶺南振興局長の権限において試行できる枠予算で、成果を踏まえ、次年度の新規事業を立案												
[受益者] 観光客、県民						[想定される受益者数] 嶺南地域への観光客(延べ人数) 773万人(R4)						
前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担		<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 土木部枠単 (役割分担) 土木部枠単は安全安心を最優先し、事業を実施する。嶺南振興プロジェクト枠では、北陸新幹線開業等に向け、対応できていなかった観光地周辺の道路補修や景観整備事業等を実施する。				
市町との連携状況	関係市町から意見を聞くなど、連携しながら事業を実施している。					他県の状況		・岡山県 ハード枠 3.1億、ソフト枠0.15億(補助あり) ・鹿児島県 ハード枠 0.8億(補助)、ソフト枠0.2億(補助あり) など				

嶺南振興プロジェクト枠予算

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	一部内	部局名	嶺南振興局	課名	若狭企画振興室	課長名	久世 東洋晴		
事業主体	県、市町				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務		■ 実行予算 ■ 補助金 □ その他		事業 開始 年度	R1 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R8 年度
事業実施方法	直営、委託、補助										経過年数		
補助率	1/2										6 年		
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等							
予算額	160,000				160,000								
[予算額の推移等] (単位: 千円)													
区 分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	令和6年度予算額の増減理由						
当初予算額の推移		160,000	160,000	160,000	160,000	160,000							
2月現計予算額の推移		160,000	160,000	160,000	160,000								
決算額の推移		156,596	158,589	157,159									
前年度までの 主な増減理由													
[成果指標等の推移]													
区 分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠				
成果指標	【トライアル枠】 政策トライアル枠予算の活 用を反映した事業数 (目標) 実績	4	2	2	1				新しい施策にいち早くチャレンジして取り組めるよう、振興局長の権限 において試行できる枠予算であり、目標の設定にそぐわない。				
	【ハード枠】 実施件数 (目標) 実績	24	19	18	24								観光振興等の地域課題に迅速に対応するための事業であり、目標の設定 にそぐわない。市町の意見を聞きながら観光地周辺の道路修繕や景観 整備等を実施し、魅力向上等に努めたい。
活動指標	【トライアル枠】 政策トライアル枠予算を活 用した事業数 (目標) 実績	8	5	4	2				新しい施策にいち早くチャレンジして取り組めるよう、振興局長の権限 において試行できる枠予算であり、目標の設定にそぐわない。				
[事業の評価]													
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和6年度の変更点				事業評価					
ハード枠については、観光地周辺の道路補修や景観整備等を実施した。 政策トライアル枠については、主に観光振興、農林水産業振興の事業 を実施し、令和5年度当初予算、6月補正予算において2件の新規施 策（新規事業1件、拡充事業1件）に繋がった。				引き続き、嶺南市町の様々な要望や意見を聞きながら、 柔軟に対応していく。				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額		
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了			
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他			

2024 嶺南誘客キャンペーン開催事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	外	部局名	嶺南振興局	課名	若狭企画振興室	課長名	久世 東洋晴	
事業主体	実行委員会				事務 区分	■ 自治事務	事業 区分	<input type="checkbox"/> 実行予算	事業 開始 年度	R4 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	負担金							<input type="checkbox"/> 補助金	経過年数	3 年		
補助率	-							<input type="checkbox"/> 法定受託事務	■ その他			
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [3 楽しみを広げる(創造力)] 政策 [9 100年に一度のまちづくり]				関連する県の計画等		[ふくい観光ビジョン FIRST291～北陸新幹線開業プラン～]					
[解決すべき問題・課題] 北陸新幹線敦賀開業の効果を最大限に活かすため、当面の終着駅である敦賀駅で降りた新幹線客を嶺南全域に誘客するための施策が必要がある。						[問題・課題を表す客観的データ] 福井県全体に占める嶺南地域における観光客入込数が少ない。 R3観光入込客数(延べ人数) 嶺南地域 6,462千人(28.3%) 福井県全体 22,848千人						
<p>[事業目的] 令和6年3月北陸新幹線敦賀開業にあわせ、嶺南全域(敦賀以西)に誘客を図るため、「青々吉日TSURUGA WAKASA」周遊キャンペーンを嶺南市町等と一体となって開催する。</p> <p>[事業内容] 令和4年度に実行委員会を立ち上げ、令和6年3月のキャンペーン開催に向けて準備を行う。 【令和4年度】実行委員会の開催(年6回)、企画募集、基本計画の策定 【令和5年度】広報宣伝・開催準備、キャンペーン開催 【令和6年度】「青々吉日TSURUGA WAKASA」周遊キャンペーンの開催・運営</p>												
[受益者] 観光客、県民						[想定される受益者数] 嶺南地域への観光客(延べ人数) 773万人(R4)						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況	・実行委員会の委員として県と協働して事業を実施する。					他県の状況	・佐賀・長崎デスティネーションキャンペーン 2022.10.1～12.31					

2024 嶺南誘客キャンペーン開催事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	外	部局名	嶺南振興局	課名	若狭企画振興室	課長名	久世 東洋晴		
事業主体		実行委員会				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	□ 実行予算 □ 補助金 ■ その他	事業 開始 年度	R4 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法		負担金											
補助率		-											
区分	事業費		国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等					
予算額	65,000		32,500			32,500		デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生推進タイプ）					
[予算額の推移等] (単位：千円)													
区 分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	令和6年度予算額の増減理由						
当初予算額の推移				5,000	50,000	65,000	広報プロモーション（WEB広告、SNS発信等）の強化 大型周遊企画（デジタルスタンプラリー）の実施、食・お土産サイトの運用						
2月現計予算額の推移				5,000	50,000								
決算額の推移				5,000									
前年度までの 主な増減理由		R4 基本計画策定 R5 広報宣伝・開催準備、キャンペーン開催（R6.3～）											
[成果指標等の推移]													
区 分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠				
成果指標	嶺南地域への観光客入込数（目標） （千人）				(10,000)	(12,000)	(12,000)	(12,000)	嶺南地域への入込数1,200万人を目標 (R元 1,000万人 ⇒ R6 1,200万人（2割増）) ※観光入込客数は毎年6月頃に前年分を公表				
	実績												
活動指標	サイト閲覧数（PV）				(25,000)	(300,000)	(300,000)	(300,000)	R6.2～公式PRサイト（目標 R7.3 :15万PV） R6.2～御食国食旅サイト（目標 R7.3 :15万PV） ※5年度実績は2月末時点を踏まえた年度末の見込み				
	実績				30,000								
[事業の評価]													
前年度の実績・成果指標等の定量的評価					実績を踏まえた令和6年度の変更点				事業評価				
(前年度実績) R6.2公式PRサイト・御食国食旅サイトを公開 15,000PV（2月末） R6.3.8～10 北陸新幹線敦賀開業1週間前に、東京渋谷において嶺南の 魅力を発信する「青々吉日敦賀・若狭フェア」を開催 実行委員会総会（要望対応） R6.2サイト、観光冊子のインバウンド対応（多言語表記）					関西・大阪万博や敦賀以西新幹線延伸に向けて継続的な誘客体制を構築				□ 拡充	□ 縮減	□ 終期の見直し	見直し額	
									■ 継続	□ 休止	□ 完了		
									□ 整理統合	□ 廃止	□ その他		

「海湖と歴史の若狭路」発信事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	嶺南振興局	課名	嶺南プロジェクト推進室	課長名	田淵 洋平	
事業主体	実行委員会				事務 区分	■ 自治事務	事業 区分	□ 実行予算 □ 補助金 ■ その他	事業 開始 年度	H25 年度 経過年数 12 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	負担金											
補助率	-											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [3 楽しみを広げる(創造力)] 政策 [10 北陸新幹線開業効果を最大化]				関連する県の計画等		[ふくい観光ビジョン]					
[解決すべき問題・課題] 北陸新幹線県内開業効果の最大化のため、福井や敦賀から嶺南に誘客促進を行う必要がある。						[問題・課題を表す客観的データ] R4年県内観光客入込数 15,191千人 うち、関西地区からの入込数 2,570千人 うち、中京地区からの入込数 1,595千人						
[事業目的] 新幹線開業によって新たに生じる誘客チャンスに対応するため、誘客コンテンツを実施し嶺南地域における開業効果を高める。												
[事業内容] 「海湖と歴史の若狭路」キャンペーンの実施(実行委員会負担金) ・レンタカーやマイカーを対象とする周遊プランの実施(観光シーズンを中心に実施) ・若狭路城跡めぐりキャンペーンの実施(4～6月) ・観光周遊マップの外国語版製作												
[受益者] 福井県の観光関係事業者(宿泊業、飲食サービス業)						[想定される受益者数] 事業所数5,477(H26経済センサス)						
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・ 役割分担	■ 無 □ 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況	・実行委員会傘下により共同でイベント、出向宣伝等を実施 ・嶺南6市町と連携した城巡りイベントを実施					他県の状況						

「海湖と歴史の若狭路」発信事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内		部局名	嶺南振興局	課名	嶺南プロジェクト推進室	課長名	田淵 洋平
事業主体	実行委員会			事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	事業区分	<input type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input checked="" type="checkbox"/> その他	事業開始年度	H25 年度 経過年数 12 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度	
事業実施方法	負担金											
補助率	-											
区分	事業費	国庫	起債	その他		一般財源	国庫、その他財源の名称等					
予算額	4,000	2,000				2,000	デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生推進タイプ）					
[予算額の推移等]												(単位：千円)
区 分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	令和6年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移		5,464	9,000	4,000	4,000	4,000						
2月現計予算額の推移		5,464	7,756	4,000	4,000							
決算額の推移		5,461	2,988	4,000								
前年度までの 主な増減理由	R3：石川県と連携したドライブプラン造成 R4：誘客プロモーションに関する事業部分を観光誘客課から新幹線開業課に移管											
[成果指標等の推移]												
区 分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	嶺南地域への観光客入込数（目標） （千人）	(10,000)	(10,000)	(10,000)	(10,000)	(12,000)	(12,000)	(12,000)	嶺南地域への入込数1,200万人を目標 (R元 1,000万人 ⇒ R6 1,200万人（2割増）) ※観光入込客数は毎年6月頃に前年分を公表			
		実績	6,602	6,462	7,732							
活動指標	実行委員会の開催	(目標)	(2)	(2)	(2)	(2)						
		実績	2	2	2	2						
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和6年度の変更点				事業評価				
活動指標に関しては目標を達成 「海湖と歴史の若狭路」発信事業において、城跡巡りキャンペーンや若狭路レストランパスの運行等を実施した。				令和6年度より観光誘客課から嶺南振興局に事業を移管				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了		
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

新幹線二次交通整備等支援事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	嶺南振興局	課名	嶺南プロジェクト推進室	課長名	田淵 洋平	
事業主体	嶺南広域行政組合				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	□ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R5 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R7 年度
事業実施方法	補助											
補助率	1/2											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [3 楽しみを広げる(創造力)] 政策 [9 100年に一度のまちづくり]				関連する県の計画等		[嶺南地域公共交通網形成計画 ふくい観光ビジョン、FIRST291～北陸新幹線開業プラン～]					
[解決すべき問題・課題] 敦賀駅から小浜方面に移動できる公共交通は小浜線に限定されており、駅から観光地への移手段の確保、利便性向上が課題である。						[問題・課題を表す客観的データ] ・令和4年度の小浜線ダイヤ改定により運行便数が減少した。 ・駅から観光地への移手段として週末に利用しやすいバス路線が少ない。						
[事業目的] 小浜線を補完する直行バス等の試験運行を支援し、移動の利便性を検証する。												
[事業内容] JR小浜線の空白時間の補完を目的とするJR敦賀駅から小浜、おおい、高浜方面への直行バス等の運行を支援												
[受益者] 観光客、県民						[想定される受益者数] 嶺南地域への観光客数(延べ人数) 773万人 (R4)						
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	■ 無 □ 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況						他県の状況						

新幹線二次交通整備等支援事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	嶺南振興局	課名	嶺南プロジェクト推進室	課長名	田淵 洋平	
事業主体	嶺南広域行政組合				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	<input type="checkbox"/> 実行予算	事業 開始 年度	R5 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R7 年度
事業実施方法	補助							<input checked="" type="checkbox"/> 補助金				
補助率	1/2							<input type="checkbox"/> その他				
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	20,400			(繰入) 20,400	0	地域振興基金 (若狭湾快速鉄道の建設基金)						
[予算額の推移等] (単位: 千円)												
区 分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	令和6年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移					4,347	20,400	運行期間、運行本数の増加					
2月現計予算額の推移					4,347							
決算額の推移												
前年度までの 主な増減理由												
[成果指標等の推移]												
区 分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	嶺南西部への観光入込客数 (目標) (千人) 実績				(実証)	(4,500)	(4,500)	(4,500)	令和5年度は実証のため、成果目標の設定はなし 嶺南西部(小浜・おおい・高浜)への入込客数を450万人に増やす。 (R元 376万人 ⇒ R7 450万人(2割増)) ※観光入込客数は毎年6月頃に前年分を公表			
活動指標	運行本数 (目標) (本) 実績				(48)	(375)						令和6年度: 3本/日×125日間 ※R5実績については見込み
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和6年度の変更点				事業評価				
令和5年度は3月16日から31日にかけて、1日あたり3便の直行バスの実証運行を実施				運行期間を4月~12月に拡大				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了		
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

三方五湖エリア等広域バス運行支援事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	嶺南振興局	課名	嶺南プロジェクト推進室	課長名	田淵 洋平
事業主体	バス運行事業者					事務区分 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	事業区分 <input type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業開始年度 R3 年度	経過年数 4 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R8 年度
事業実施方法	補助										
補助率	4.5/20										
福井県長期ビジョンにおける位置付け	分野 [3 楽しみを広げる(創造力)] 政策 [9 100年に一度のまちづくり]					関連する県の計画等		福井県三方五湖エリアステップアッププログラム、嶺南地域公共交通 [網形成計画、ふくい観光『トライ!』ビジョン、FIRST291～北陸新幹 線開業プラン～、福井県高速交通開通アクション・プログラム]			
[解決すべき問題・課題] 三方五湖エリアにおける駅からの公共交通がコミュニティバスなどに限られるため、公共交通機関で来県する方々などの移動の利便性向上を図ることが課題である。						[問題・課題を表す客観的データ] 小浜線のダイヤ減少により東西移動の利便性が減少 観光客に便利な美浜駅、三方駅からの公共交通機関はタクシーのみ コミュニティバスのダイヤ、経路は住民ニーズを想定したものである。					
[事業目的] 公共交通網の充実が嶺南観光の課題であり、個人旅行者が自由に周遊できる移動手段としてバスに対するニーズを三方五湖エリア等において検証してきた。検証の結果、新幹線開業後は関東の観光客を中心にバス利用者の増加が期待できることから、運輸事業者による広域的なバスの運行を支援し、開業後の利用実績に基づく採算見直しなどを検証する。											
[事業内容] (1) バス運行を支援 運行期間：4月から12月の土日祝日に限定(運行日数81日間) 運行経路：ゴイチバスとクマゴコバスを一体的に再編し、敦賀駅から三方五湖、熊川宿までの広域的なエリアを運行 (2) 利用状況調査を支援 乗降調査、利用者アンケート調査 (3) 利用促進対策を支援 乗り放題券や企画チケット(乗り放題券+観光施設入場料)の造成、デジタルチケットの販売(JR西日本観光ナビtabiwaでの販売) 外国人観光客の利用促進(チラシの多言語化、車内アナウンスの多言語化、乗り放題券や企画チケットの多言語化等) グーグル等経路検索サイトへの登録等											
[受益者] 観光客、県民						[想定される受益者数] 嶺南地域への観光客(延べ人数) 773万人(R4)					
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)				
市町との連携状況						他県の状況					

三方五湖エリア等広域バス運行支援事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	嶺南振興局	課名	嶺南プロジェクト推進室	課長名	田淵 洋平		
事業主体		バス運行事業者				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	<input type="checkbox"/> 実行予算	事業 開始 年度	R3 年度 経過年数 4 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R8 年度
事業実施方法		補助							<input checked="" type="checkbox"/> 補助金				
補助率		4.5/20							<input type="checkbox"/> その他				
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等							
予算額	3,613	1,806			1,807	デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生推進タイプ）							
[予算額の推移等] (単位：千円)													
区 分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	令和6年度予算額の増減理由						
当初予算額の推移			4,508	5,496	9,494	3,613	補助率の変更に伴う減額 R5年度 1/2 R6年度 4.5/20						
2月現計予算額の推移			3,543	5,496	9,494								
決算額の推移			2,940	5,179									
前年度までの 主な増減理由	R4、R5：運行日数の拡大に伴う増額 R3年度 18日間 R4年度 31日間 R5年度 51日間												
[成果指標等の推移]													
区 分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠				
成果指標	1日あたりのバス利用者数（目標） （人） 実績		(実証) 29	(実証) 24	(実証) 40	(50)	(100)	(200)	令和5年度までは実証のため、成果目標の設定はなし 令和9年度以降は民間事業者の自己採算によるバスの継続的な運行を目指す				
活動指標	運行本数 （本） 実績		(180)	(248)	(392)	(567)							令和3年度：9本/日×20日間 令和5年度：7本/日×51日間
[事業の評価]													
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和6年度の変更点				事業評価					
令和5年度はGWや秋の行楽シーズン、新幹線開業時期などの土日祝日に運行（51日間）				<ul style="list-style-type: none"> ・運行期間を4月～11月までとして大幅に拡大 ・運輸事業者による自主運行路線として運行 ・運行エリアを熊川宿まで拡大 				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額		
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了			
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他			

三方五湖エリアにおける駐車場混雑情報配信体制整備支援事業

区分	終了	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	嶺南振興局	課名	嶺南プロジェクト推進室	課長名	田淵 洋平
事業主体	三方五湖エリアの観光振興を担う団体					事務区分 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	事業区分 <input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業開始年度 R5 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年度) R5 年度	事業名 補助率	田淵 洋平
事業実施方法	補助										
補助率	1/4										
福井県長期ビジョンにおける位置付け	分野 [3 楽しみを広げる(創造力)] 政策 [9 100年に一度のまちづくり]					関連する県の計画等		福井県三方五湖エリアステップアッププログラム、嶺南地域公共交通 [網形成計画、ふくい観光『トライ!』ビジョン、FIRST291～北陸新幹 線開業プラン～、福井県高速交通開通アクション・プログラム]			
[解決すべき問題・課題] レインボーラインの無料化(令和4年10月1日～)による通行台数の増加によって、GWなどの繁忙期にはレインボーラインにおける渋滞や駐車場の混雑が発生し、周遊や消費の機会が失われることが課題である。						[問題・課題を表す客観的データ] 令和4年度GWには、レインボーライン駐車場や山頂公園の収容能力を超える観光客が来園し、道路の渋滞やチケット売り場での行列が発生した。					
[事業目的] 三方五湖エリア全体における観光施設の混雑状況を踏まえて、観光客が訪問時間の分散や訪問先の分散を図ることができるよう、主要な観光施設等駐車場の混雑情報を配信するための体制整備を支援する。											
[事業内容] (1) 駐車場の混雑情報を把握し、集約するための専用アプリの導入を支援 ・主な観光施設のスタッフが目視で駐車場の混雑状況を把握し、専用アプリに手入力する仕組み (2) 駐車場の混雑情報を配信するHPの作成等を支援 ・専用アプリに入力された情報を配信するためのHPの作成 ・県が所有するデジタルサイネージを活用した情報配信の実施											
[受益者] 観光客、県民						[想定される受益者数] 嶺南地域への観光客(延べ人数) 773万人(R4)					
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)				
市町との連携状況						他県の状況					

三方五湖エリアにおける駐車場混雑情報配信体制整備支援事業

区分	終了	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	嶺南振興局	課名	嶺南プロジェクト推進室	課長名	田淵 洋平	
事業主体		三方五湖エリアの観光振興を担う団体				事務 区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務		事業 区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他		R5 年度 事業終了 予定年度 (見直し年 度)
事業実施方法		補助					事業 開 始 年 度	R5 年度 経過年数 1 年				
補助率		1/4										
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額												
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	令和6年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移					519	-						
2月現計予算額の推移					519	-						
決算額の推移						-						
前年度までの 主な増減理由												
[成果指標等の推移]												
区 分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	HP閲覧者数(人) (目標) 実績				(9,600) 3,507				令和4年度は8日間で1日当たり約400人が閲覧したことから、 400人×24日=9,600人			
活動指標	配信日数(日) (目標) 実績				(24) 18				令和5年GW9日、三連休15日(7月、8月、9月、10月、11月)			
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和6年度の変更点				事業評価				
観光客の入込状況を踏まえ、道路の渋滞や混雑が懸念される時期としてGW、9、10、11月に配信した。 令和5年秋の三連休は、天候の影響などもあり渋滞や混雑が生じるほどの混雑には至らず、ホームページの利用が少なくなった。				-				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input checked="" type="checkbox"/> 完了	519	
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

嶺南のインバウンド旅行商品造成事業

区分	終了	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	嶺南振興局	課名	嶺南プロジェクト推進室	課長名	田淵 洋平
事業主体	県				事務区分 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務			事業区分 <input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業開始年度 R5 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年度) R5 年度	R5 年度
事業実施方法	委託										
補助率	—										
福井県長期ビジョンにおける位置付け	分野 [3 楽しみを広げる (創造力)] 政策 [10 北陸新幹線開業効果を最大化]				関連する県の計画等	[]					
[解決すべき問題・課題] 外国人観光客が多く訪問する京都府や大阪府に近い立地にあるにも関わらず、福井県に外国人観光客を誘客できていない。						[問題・課題を表す客観的データ] 福井県の外国人観光客は全国最下位の水準 訪問率0.2% (観光庁2019年調査)					
[事業目的] 北陸新幹線福井・敦賀開業、令和7年度の大阪・関西万博開催の好機に向け、体験コンテンツを造成し、多くの外国人観光客が訪問する関西圏から嶺南地域への誘客を図る											
[事業内容] 関西を目的地とする外国人観光客を嶺南に誘客するため、移動手段を含めた高付加価値な体験コンテンツを造成し、販売する。 (1) 新たな体験コンテンツの造成 (2) 同行ガイドの育成 (3) モニターツアーによる課題の把握 (4) 造成したコンテンツの販売											
[受益者] 外国人観光客、県民						[想定される受益者数] 嶺南地域への観光客 (延べ人数) 773万人 (R4)					
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)				
市町との連携状況						他県の状況					

嶺南のインバウンド旅行商品造成事業

区分	終了	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	嶺南振興局	課名	嶺南プロジェクト推進室	課長名	田淵 洋平			
事業主体		県				事務 区分	■ 自治事務		事業 区分	■ 実行予算		R5 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R5 年度
事業実施方法		委託					□ 法定受託事務			□ 補助金				
補助率		—					□ その他			□ その他				
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等								
予算額														
[予算額の推移等]												(単位：千円)		
区 分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	令和6年度予算額の増減理由							
当初予算額の推移					13,752	-								
2月現計予算額の推移					13,752	-								
決算額の推移					13,518	-								
前年度までの 主な増減理由														
[成果指標等の推移]														
区 分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠					
成果指標	嶺南地域への観光客入込数 (目標) (千人) 実績				(10,000)				嶺南地域への入込数1,200万人を目標 (R元 1,000万人 ⇒ R6 1,200万人 (2割増)) ※観光入込客数は毎年6月頃に前年分を公表					
活動指標	造成、販売する旅行商品の 数 実績				(4) 4				造成、販売する旅行商品の数					
[事業の評価]														
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和6年度の変更点				事業評価						
令和5年度は、富裕層向けの旅行商品を4つ造成し、販売を開始した。 令和6年度以降も継続して販売し、誘客促進を図る。				-				□ 拡充		□ 縮減	□ 終期の見直し	見直し額		
								□ 継続		□ 休止	■ 完了		13,752	
								□ 整理統合		□ 廃止	□ その他			

恋愛・結婚・家族をテーマとした誘客促進事業

区分	終了	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	嶺南振興局	課名	嶺南プロジェクト推進室	課長名	田淵 洋平	
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	R5 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年度)	R5 年度
事業実施方法	委託											
補助率	—											
福井県長期ビジョンにおける位置付け	分野 [3 楽しみを広げる(創造力)] 政策 [10 北陸新幹線開業効果を最大化]				関連する県の計画等	[ふくい観光ビジョン FIRST291～北陸新幹線開業プラン～]						
[解決すべき問題・課題]						[問題・課題を表す客観的データ]						
嶺南地域は、「恋愛」や「結婚」、「子育て」など若い世代の節目に関連する旅のコンテンツに恵まれているが、誘客に活用できていない。						福井県を訪れる宿泊旅行者の中で「20～34歳・女性」は全体の9.2%（全国平均12.4%）【じゃらん宿泊旅行調査2022】						
[事業目的]						[問題・課題を表す客観的データ]						
嶺南地域は、「恋愛」や「結婚」、「子育て」など若い世代の節目に関連する旅のコンテンツに恵まれているが、観光誘客に効果的に活用されておらず、十分に認知されていない。そこで、新たな誘客に繋げるため、コンテンツの魅力高めるとともにプロモーションツールを制作し、それぞれのライフステージに合わせて何度も旅を楽しめる地域であることをPRする。												
[事業内容]												
<p>(1) コンテンツの魅力向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体験コンテンツの開発 ・モニターツアーによる課題の把握 <p>(2) プロモーションツールの制作等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・結婚や子育ての魅力を伝える映像の制作 等 <p>(3) 誘客プロモーション</p> <ul style="list-style-type: none"> ・嶺南誘客キャンペーンを活用したPR ・結婚専門誌等への記事掲載 等 												
[受益者] 観光客、県民						[想定される受益者数] 嶺南地域への観光客(延べ人数) 773万人 (R4)						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況						他県の状況						

恋愛・結婚・家族をテーマとした誘客促進事業

区分	終了	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	嶺南振興局	課名	嶺南プロジェクト推進室	課長名	田淵 洋平	
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	R5 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年度)	
事業実施方法	委託											
補助率	—											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額												
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区分	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	令和6年度予算額の増減理由						
当初予算額の推移				7,402	-							
2月現計予算額の推移				7,402	-							
決算額の推移				6,699	-							
前年度までの 主な増減理由												
[成果指標等の推移]												
区分	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠				
成果指標	嶺南地域への観光客入込数 (目標) (千人) 実績			(10,000)				嶺南地域への入込数1,200万人を目標 (R元 1,000万人 ⇒ R6 1,200万人 (2割増)) ※観光入込客数は毎年6月頃に前年分を公表				
活動指標	体験コンテンツ作成数 (目標) 実績			(2) 2				新たに作成する体験コンテンツの数				
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和6年度の変更点				事業評価				
令和5年度は、ウェディング関連の体験コンテンツを2つ作成した。 令和6年度以降、作成したコンテンツの販売を行い誘客促進を図る。				-				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input checked="" type="checkbox"/> 完了	7,402	
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

若狭路ご当地弁当を活用した団体旅行誘客事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	嶺南振興局	課名	嶺南プロジェクト推進室	課長名	田淵 洋平
事業主体	県				事務区分 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務			事業区分 <input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業開始年度 R6 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年度) R6 年度	R6 年度
事業実施方法	委託										
補助率	—										
福井県長期ビジョンにおける位置付け	分野 [3 楽しみを広げる(創造力)] 政策 [10 北陸新幹線開業効果を最大化]				関連する県の計画等	[FIRST291～北陸新幹線開業プラン～]					
[解決すべき問題・課題] 嶺南地域では団体旅行の際に大人数が昼食を取れる場所が少なく団体ツアーの造成が制限されている。						[問題・課題を表す客観的データ] 団体旅行で使える昼食施設が3つしかない。					
[事業目的] 御食国の豊かな食材を楽しめるご当地弁当を活用した旅行プランを企画・開発し、新しいスタイルの団体ツアーの造成を促進する。											
[事業内容] (1) 昼食プランの造成 (2) 旅行会社への売り込み (3) 知名度向上のための特設販売 (4) 首都圏等での情報発信 (5) PRパンフレットの作成											
[受益者] 観光客、県民						[想定される受益者数] 嶺南地域への観光客数(延べ人数) 773万人 (R4)					
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 嶺南食材を活用した弁当の開発・販売の事業可能性検証(トライアル) (役割分担) 検証事業で開発した弁当を活用した昼食プランを企画・開発し、旅行会社に売り込む。				
市町との連携状況						他県の状況					

若狭路ご当地弁当を活用した団体旅行誘客事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	嶺南振興局	課名	嶺南プロジェクト推進室	課長名	田淵 洋平		
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R6 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度	
事業実施方法	委託												
補助率	—												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等							
予算額	1,903				1,903								
[予算額の推移等] (単位：千円)													
区 分	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	令和6年度予算額の増減理由							
当初予算額の推移					1,903								
2月現計予算額の推移													
決算額の推移													
前年度までの 主な増減理由													
[成果指標等の推移]													
区 分	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠					
成果指標	嶺南地域への観光客入込数 (目標) (千人) 実績				(12,000)	(12,000)	(12,000)	嶺南地域への入込数1,200万人を目標 (R元 1,000万人 ⇒ R6 1,200万人 (2割増))					
活動指標	モニターツアーに参加する 旅行会社数 (社) 実績				(5)		(5)	モニターツアーに参加する旅行会社数					
[事業の評価]													
前年度の実績・成果指標等の定量的評価					実績を踏まえた令和6年度の変更点					事業評価			
-					-					<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
										<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	
										<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	